

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 5 日 (2019.12.5)

【公開番号】特開 2018-207343 (P2018-207343A)

【公開日】平成 30 年 12 月 27 日 (2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-050

【出願番号】特願 2017-111878 (P2017-111878)

【国際特許分類】

**H 0 4 L 12/46 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 L 12/46 2 0 0 S

H 0 4 L 12/46 1 0 0 C

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

またバス切替制御部 6 1 c は、通信線 1 1 ~ 1 3 を分離状態から接続状態へ切り替えた場合、通信部 5 2 及び 5 3 をスリープ状態又はスタンバイ状態等の省電力状態へ移行させる制御を行う。これにより通信部 5 2 及び 5 3 は、通信線 1 2 及び 1 3 を介したメッセージの送受信処理を停止する。反対に、通信線 1 1 ~ 1 3 を接続状態から分離状態へ切り替えた場合、バス切替制御部 6 1 c は、通信部 5 2 及び 5 3 を省電力状態から通常の動作状態、即ちメッセージの送受信処理を行う状態へ移行させる制御を行う。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 5】

図 1 1 は、変形例に係る第 2 ルーティングマップの構成例を示す模式図である。変形例に係るゲートウェイ 1 0 5 は、通信線 1 1 1 ~ 1 1 3 が分離状態であり且つ通信線 1 1 4 ~ 1 1 6 が接続状態である場合に、図示の第 2 ルーティングマップを用いてメッセージの中継処理を行う。通信線 1 1 1 ~ 1 1 3 が分離状態であり且つ通信線 1 1 4 ~ 1 1 6 が接続状態であるため、この状態の通信システムでは実質的に 4 つの通信線に E C U 2 A ~ 2 L が接続された状態に等しい。通信線 1 1 1 に接続された E C U 2 A が送信したメッセージは、ゲートウェイ 1 0 5 による中継なしで通信線 1 1 1 に接続された E C U 2 B にて直接的に受信されるか、ゲートウェイ 1 0 5 により中継されて通信線 1 1 2 若しくは 1 1 3 に接続された E C U 2 C ~ 2 F にて受信されるか、又は、ゲートウェイ 1 0 5 により中継されて接続状態の通信線 1 1 4 に接続された E C U 2 G ~ 2 L にて受信される。